

## さつきの鉢植えずらり、圧巻の光景

◎さつきまつり

鮮やかな色彩にじつと見入る来場者



日吉盆栽会(会長・森下茂)が主催する「第43回日吉さつきまつり」は5月29日・30日・31日の3日間、道の駅日吉産地で開催されました。会場にずらりと並ぶ、日吉盆栽会の会員たちが丹精込めて育て上げた、さつきの鉢植え73鉢。その鮮やかな色彩が訪れた人たちの目を引き、その堂々とした佇まいが、見る人々を圧倒していました。また、展示会の横では、さつきの苗木の販売を実施。購入した人に対して、盆栽会の会員たちは、親切・丁寧に育て方のコツを一つ一つ伝授していました。

## 新緑と淡色、山野草愛好家を魅了

◎山野草・山あじさい展

山野草と来場者で賑わう会場内



5月23日・24日の2日間、広見体育センターで、鬼北山野草会(会長・武田國次)が主催する「山野草・山あじさい展」が開催されました。年に数回行われているこの山野草展には、毎回町内外から多くの愛好家が来場。本展不念も、初日から大勢の人で賑わい、山野草会の会員たちとお互いに情報交換をしながら、展示された山野草の美しさに見入っていました。また、この季節ならではの「山あじさい」も多数展示。その淡く、柔らかな色合いに、見る人の顔は思わずほころんでいました。

## 泥まみれ、農業の大変さ実感

◎泉小学校田植え体験

慣れない手つきで田植えに挑戦



6月4日、泉小学校横の田んぼで、泉小学校児童たちによる田植え体験が行われました。地元の人たちの協力のもと、毎年実施されているこの田植え。子どもたちは、田んぼの泥に足を取られ苦戦しながらも、一つ一つの苗を丁寧に植えていきました。秋頃には、大きく育った稲穂を刈り取る、稲刈り体験が行われる予定です。児童たちは、この収穫までの一連の作業を通して、普段何気なく口にしているお米を育てることの大変さを体感していきます。

## 乳児院へ思いやり溢れるプレゼント

◎こでまり会、乳児院にエプロン贈呈

談笑を交えながらの作業風景



6月2日、近永公民館和室で、こでまり会(会長・上本啓子)から近永乳児院へ、エプロン38枚が贈呈されました。退職した女性教職員を中心に結成されている「こでまり会」。毎年、地域に貢献するため、手作業でエプロンやシャツを縫い、乳児院への寄附を行っています。エプロンを受け取ると、さっそく着けてもらった子どもたち。笑顔が浮かべ、自分のエプロンをお互いに自慢し合うその可愛らしい姿に、こでまり会の会員たちは、2日間にわたった作業の疲れが癒されているようでした。